



工ア面談

面談を始めているが、君たちとの平均的な？やりとりを再現してみよう。Hが私で、Aが生徒。ただ、このAくん（さん）は、今まで面接した諸君のキメラ（＝2対以上の親に由来する二つ以上の胚またはその一部からできた1個の個体。『広辞苑』）であるからそのつもりで。

H：では、そこに座って。まず、通学時間だけど、中学時代と比べるとだいぶ伸びた？

A：中学の時は歩いて10分だったんですが、今は80分くらいかかります。

H：座れるの？

A：朝は座れることもありますが、帰りはダメです。今朝は面談のために早めに来たのですが、すいていたし、快速があることも分かったので、ちょっと通学時間帯を変えてみようかなと思います。

H：そうだね。朝は余裕があると、交通機関が乱れがちになる雨の日も安心だし、すいていれば勉強もできるから、できるなら早めの時間帯に登校して、その分学校で勉強するとイイかもね。電車の80分はどう活用してるの？

A：半分は英単語をやっていて、あとは読書をしています。

H：オッケー。「現在の心境」のところを見ると、「教材の多さ、予習・復習などの多さに驚いている」とあるね。

A：私はいくつかのことを並行してやるのが不得意で、中学のころは、例えば社会は歴史ばかりやって、その後地理をやるみたいな感じだったんですが、高校では、日本史と地理があるし、理科も生物基礎と地学基礎、国語や英語も先生が複数いたりして、

それでどこから手をつけたらイイのか、うまく計画を立てられないんです。

H：それはみんなの共通の悩みだ。ただ、誰だって英語と数学の教科書を両方開きながら、同時に二つの科目を勉強したりしないでしょ。つまり、並行して勉強なんかしてないよね。一つずつ順番にやっているわけだから、その順番をこれからの勉強を通して工夫するんだね。例えば、月曜日は英表→数Ⅰの順序でやった方がはかどるけど、火曜日は数Ⅰ→コミュ英の順がイイといった場合もあるかも知れないね。その日に勉強しなければならない科目をピックアップして、効果的な勉強の順を考えよう。

A：特に数学が不得意なので、この先授業についていけるか心配です。

H：数学が不安な人も多いね。不得意な科目があるのは仕方ないけれど、不得意の度合いを小さくする努力は大切だよ。不得意だからといって今手を抜くと、ますます不得意になってしまうから、不得意でもイイから、できる範囲で授業についていくよう努力すべきだろうね。ところで、「楽しい」とも書いてあるね。

A：クラスの人、元気で明るく話やすい人が多く、それでいて勉強もしっかりしているので尊敬しています。行事などの時になるべく多くの人と話をして、たくさんの友だちを作りたいと思います。

H：日比谷のイイところは友だちだからね。同時に、日比谷の生活の基本は勉強だから、予習・復習の習慣をつけて、がんばって授業についていくよう努力しよう。